

事業所名

くあどりふおりお

支 援 プ ロ グ ラ ム

作成日

令和

7 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		支援を受けているグループ企業との連携により、スタッフの専門性・育成環境を整え、質の高い療育にこだわっています。独自のエビデンスに基づいた実施や研修・ミーティングを行うことで、療育の専門家としてのスキルを高めています。子どもたちが大人になる20年後の未来、ITを道具として使いこなして働ける大人になる基盤作りの社会貢献をします。			
支援方針		☆療育×デジタル☆ ICTを使った療育とエビデンスのある療育を組み合わせる5領域にアプローチする療育に力を入れています。ICT療育カリキュラム「kitS」を導入するとともに身近にあるものを用いて遊び方を考える創造力、周りをみて真似をしながら観察する力を養うプログラムなど、すべてに根拠がある療育プログラム（指先訓練、自由遊び、塗り絵、ICT体験、サーキットトレーニングなど）をご用意し、構造化にも配慮しています。色々な活動を通じて、幼少期に他者と協力する経験や成功体験、感動体験を得られる環境は、非認知能力を育みます。			
営業時間		9 時 00 分から	18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援の5領域	健康・生活	毎日、定時に出席する習慣や構造化による生活環境の調整によって、生活リズムを安定させます。トイレトレーニング、昼食時のマナー、おやつのマナーなどで、生活スキルを身に付けます。お箸の持ち方やえんぴつの持ち方など基本的技能を必要な時期に適切に獲得します。			
	運動・感覚	サーキットトレーニングを通して、体幹バランスを整え、身体の発育を促します。指先訓練を通して、視覚、触覚、固有覚、前頭覚などの感覚が十分活用できるよう支援します。感覚過敏などの障害による感覚の特性を踏まえて、感覚の片寄りに対する環境調整等の支援をします。			
	認知・行動	ICT認知療育プログラムにより、認知能力を高め、ITの欠かせない将来社会のスキルの基礎を身に付けていきます。こだわりや偏食などの認知の特性を理解し、適切な支援を行います。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、重さ、空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとできるようタブレットも活用して支援します。感覚や認知の片寄り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や適切行動への対応などの支援をします。			
	言語・コミュニケーション	発語の遅れや拗音の使い方などの発声訓練によって発語を促し、意味のある言葉へと発展するよう支援します。人と同じものに注意を向けたり、人の行動や意図を理解・推測するなどの共同注意の獲得を目指したコミュニケーション能力向上で集団指示へと発展させるための支援をします。あいいうえおなどの読み書き能力向上のための支援をします。			
	人間関係・社会性	相互の信頼感が生まれるよう働きかけ、安心の基地となるよう、アタッチメントの形成と安定を形成して支援します。遊びを通して、模倣行動、ごっこ遊び、共同遊びへと遊びを発展させて、社会性が促進されるよう支援します。集団に参加するための手順やルールを理解し、集団活動に参加できるよう支援します。			
家族支援	日々の不安や困りごと、将来の不安など、随時の相談援助をします。ご家庭の事情に合わせて、預かり支援としての延長支援を行い、保護者の労働に対して応援する気持ちが芽生えるよう支援します。	移行支援	幼稚園や保育所、小学校などで子どもが安心して生活できるよう併行支援をすすめて、移行支援をします。将来の移行に向けた準備のための支援を行います。		
地域支援・地域連携	在籍する幼稚園等や入園予定の幼稚園等と連携し、地域の中で育ちやすい環境が整うよう支援します。	職員の質の向上	外部研修への参加を奨励しています。適宜、所内研修やスタッフ会議を行います。		
主な行事等	お誕生会、季節の行事（節分、ひな祭り、クリスマス会など）を月1回行い、季節感を大切にしています。適宜、お出かけ行事を取り入れています。				